

## 平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ネクシィーズグループ  
 コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	12,389	4.8	1,544	△6.8	1,591	△15.1	1,745	42.9
29年9月期第3四半期	11,818	15.5	1,657	35.7	1,875	55.5	1,221	84.0

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 1,646百万円 (20.1%) 29年9月期第3四半期 1,370百万円 (58.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	138.29	132.27
29年9月期第3四半期	98.88	92.11

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	13,624	8,454	50.4
29年9月期	14,087	8,046	38.6

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 6,873百万円 29年9月期 5,442百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	10.00	—	15.00	25.00
30年9月期	—	15.00	—		
30年9月期（予想）				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	2.8	2,100	2.2	2,100	△7.5	2,100	18.8	166.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	13,413,640株	29年9月期	13,413,640株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	754,901株	29年9月期	901,890株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	12,624,292株	29年9月期3Q	12,351,998株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、輸出、生産活動及び設備投資に加えて個人消費も緩やかに持ち直しております。一方で、貿易摩擦の懸念や欧州の政治動向等により海外の政治・経済は先行き不透明な状況が続いております。GDP伸び率は、平成30年1月～3月に0.2%減となりました。消費者物価指数（生鮮食品除く）は、前年同月比0.7%～1.0%の間で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは当第3四半期連結累計期間においても引き続き、LED照明等の設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の設備を導入できる「ネクシィーズ・ゼロシリーズ」（以下、「ネクシィーズ・ゼロ」）の提供に注力しております。また、前連結会計年度に開始した電力供給サービス「ネクシィーズ電力」の営業を同時に行うことで、将来の中長期的な安定収益確保も図っております。一方で、当初の予定どおり3Dクレーンゲーム「神の手」（以下、「神の手」）の大型プロモーションとしてテレビCMの全国放送による費用が発生しております。

これらの結果、売上高12,389百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益1,544百万円（前年同四半期比6.8%減）、経常利益1,591百万円（前年同四半期比15.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,745百万円（前年同四半期比42.9%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

## [エネルギー環境関連事業]

エネルギー環境関連事業では、「ネクシィーズ・ゼロ」及び「ネクシィーズ電力」の提供、LED照明等の販売、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き主力である「ネクシィーズ・ゼロ」に注力しております。4月には新入社員が入社して人員が増員されました。自社の営業による新規開拓のほか、既存顧客からの紹介促進や販売代理店からの受注の増加も図っております。また、5月には株式会社福邦銀行と販売パートナー契約を締結し、紹介案件が更に増加しております。その他LED照明等の販売やインターネット接続サービス「Nexyz.BB」についても堅調に推移しております。

これらの結果、エネルギー環境関連事業は、売上高10,196百万円（前年同四半期比28.4%増）、セグメント利益2,746百万円（前年同四半期比32.4%増）となりました。

## [電子メディア事業]

電子メディア事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、新たに5誌の電子雑誌を創刊し、更に地方自治体とのタイアップ誌の獲得も強化することで、タイトル数の増加を図ってまいりました。また、ソリューション業務も好調に推移しております。さらに、台湾でも提供を開始し、契約社数の拡大に努めております。「神の手」においては、さらなる認知度の向上を目的として2度のテレビCM全国放送を実施した結果、利用者数が増加いたしました。費用が先行しております。

これらの結果、電子メディア事業は、売上高2,193百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント損失348百万円（前年同四半期セグメント利益174百万円）となりました。

なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社ハクビの当社が保有する全株式を譲渡して連結の範囲から除外しております。これに伴い、報告セグメントの「文化教育事業」の区分につきましては、記載しておりません。また、連結子会社でありました株式会社ネクシィーズ・トレード及び株式会社DiNAは重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。これに伴い、事業セグメントの「その他」の区分につきましては、記載しておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は13,624百万円となり、前連結会計年度末に比べて462百万円の減少となりました。

## ① 資産の状況

## (流動資産)

流動資産は11,350百万円となり、前連結会計年度末に比べて594百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が568百万円、有価証券が200百万円それぞれ減少した一方で、連結子会社であった株式会社ハクビの当社が保有する全株式を譲渡したこと等に伴い現金及び預金が1,346百万円、「ネクシイズ・ゼロ」の取扱金額増加に伴いリース債権が35百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (固定資産)

固定資産は2,273百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,057百万円の減少となりました。これは主に、出資金の払い戻し等により投資有価証券が416百万円、繰延税金資産が254百万円、子会社株式の売却による連結範囲の変更等に伴い敷金及び保証金200百万円、のれん91百万円、破産更生債権等54百万円、建物18百万円がそれぞれ減少したことによるものであります。

## ② 負債の状況

## (流動負債)

流動負債は3,842百万円となり、前連結会計年度末に比べて519百万円の減少となりました。これは主に、業容の拡大に伴い買掛金が57百万円増加した一方で、短期借入金が100百万円、前受金が69百万円、未払法人税等が146百万円、解約調整引当金が128百万円、業績連動賞与引当金が107百万円それぞれ減少したことによるものであります。

## (固定負債)

固定負債は1,328百万円となり、前連結会計年度末に比べて350百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を除く）が332百万円、長期預り保証金が20百万円それぞれ減少したことによるものであります。

## ③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は8,454百万円となり、前連結会計年度末に比べて407百万円の増加となりました。主な内訳は、当社連結子会社が自己株式を取得し、持分比率が変更されたこと等から非支配株主持分が1,023百万円減少した一方で、資本剰余金が59百万円、利益剰余金が1,178百万円それぞれ増加したこと及び自己株式138百万円を処分したこと等によるものであります。

以上により流動比率は295.4%となり前連結会計年度末比48.8ポイント増加いたしました。株主資本比率は50.4%となり前連結会計年度末比11.8ポイント増加いたしました。一方で、時価ベースの株主資本比率は157.9%となり前連結会計年度末比29.6ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

各事業セグメントの見通しにつきましては、以下のとおりです。

[エネルギー環境関連事業]

エネルギー環境関連事業では、「ネクシィーズ・ゼロ」において業務用のLED照明のほか、冷蔵庫や空調等の受注が増加する見込みであります。また、顧客からの紹介や販売代理店などを通じた販路の拡大にも注力し、商材の追加導入も検討してまいります。

そのほか、電力供給サービス「ネクシィーズ電力」の同時営業にも注力してまいります。「ネクシィーズ電力」は、毎月の電気利用料金収入が得られるため、顧客数が増加することで中長期の安定した収益確保が見込まれます。

[電子メディア事業]

電子メディア事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

電子雑誌業務については、さまざまなジャンルの電子雑誌を創刊し、雑誌点数を増加させることにより、広告掲載料及び制作受託料の増加を目指してまいります。

ソリューション業務については、平成29年10月に台湾に設立した海外現地法人を活用し、各種業務受託料の増加を目指してまいります。

一方で、「神の手」のプロモーション費用が先行しておりますが、配信開始2周年を記念した特別企画を実施し、投資回収に取り組んでおります。また、「神の手」のApp Storeにおける新規ユーザーの受付及びアップデートの停止について、米Apple社と協議中であり、協議の動向によっては当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

なお、前連結会計年度までの事業セグメント、「文化教育事業」「その他」につきましては、それぞれ該当する会社を連結の範囲から除外したため、記載しておりません。連結業績予想につきましては、平成29年11月14日発表時の通期業績予想に変更はございません。

平成30年9月期通期連結業績見通し（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

売上高 16,500百万円  
営業利益 2,100百万円  
経常利益 2,100百万円  
親会社株主に帰属する当期純利益 2,100百万円

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,677,575	6,023,922
受取手形及び売掛金	3,436,610	2,868,272
リース債権	1,233,789	1,269,107
商品	222,746	180,701
未収入金	276,506	314,313
繰延税金資産	385,752	451,694
その他	683,774	443,708
貸倒引当金	△160,638	△200,787
流動資産合計	10,756,117	11,350,932
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	106,535	91,491
その他(純額)	277,545	255,004
有形固定資産合計	384,080	346,495
無形固定資産		
のれん	117,826	26,772
ソフトウェア	92,002	109,844
その他	18,621	—
無形固定資産合計	228,450	136,617
投資その他の資産		
投資有価証券	1,239,625	823,099
敷金及び保証金	470,310	269,665
その他	1,101,945	736,974
貸倒引当金	△93,227	△38,954
投資その他の資産合計	2,718,653	1,790,786
固定資産合計	3,331,184	2,273,899
資産合計	14,087,302	13,624,831

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	989,512	1,046,717
短期借入金	800,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	362,760	362,760
未払金	505,040	465,154
未払法人税等	543,860	397,391
解約調整引当金	405,371	276,553
業績連動賞与引当金	270,398	163,152
その他	484,812	430,603
流動負債合計	4,361,756	3,842,332
固定負債		
長期借入金	1,473,100	1,140,340
その他	205,482	188,152
固定負債合計	1,678,582	1,328,492
負債合計	6,040,339	5,170,824
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,189,156	1,189,156
資本剰余金	270,302	330,296
利益剰余金	4,796,026	5,974,140
自己株式	△852,619	△714,601
株主資本合計	5,402,866	6,778,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,759	94,533
為替換算調整勘定	—	△400
その他の包括利益累計額合計	39,759	94,133
新株予約権	9,879	9,539
非支配株主持分	2,594,458	1,571,340
純資産合計	8,046,962	8,454,006
負債純資産合計	14,087,302	13,624,831



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	11,818,924	12,389,160
売上原価	5,979,354	6,036,736
売上総利益	5,839,569	6,352,424
販売費及び一般管理費	4,181,841	4,808,173
営業利益	1,657,727	1,544,250
営業外収益		
投資有価証券売却益	195,674	139
投資事業組合運用益	20,923	50,339
その他	17,293	4,886
営業外収益合計	233,891	55,366
営業外費用		
支払利息	6,204	5,973
支払手数料	7,713	1,050
その他	2,554	977
営業外費用合計	16,472	8,000
経常利益	1,875,147	1,591,615
特別利益		
投資有価証券売却益	—	26,286
関係会社株式売却益	—	685,486
特別利益合計	—	711,773
特別損失		
関係会社株式評価損	—	32,998
特別損失合計	—	32,998
税金等調整前四半期純利益	1,875,147	2,270,390
法人税、住民税及び事業税	501,247	525,560
法人税等調整額	42,086	152,523
法人税等合計	543,333	678,084
四半期純利益	1,331,813	1,592,305
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	110,404	△153,458
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,221,408	1,745,764

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,331,813	1,592,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,779	54,774
為替換算調整勘定	—	△852
その他の包括利益合計	38,779	53,922
四半期包括利益	1,370,592	1,646,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,260,188	1,800,139
非支配株主に係る四半期包括利益	110,404	△153,911

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い等の適用)

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」(実務対応報告第36号平成30年1月12日。以下「実務対応報告第36号」という。)等を平成30年4月1日以後適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号平成17年12月27日)等に準拠した会計処理を行うことといたしました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	エネルギー 環境関連 事業	電子メディア 事業	文化教育 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,940,512	2,131,800	1,532,053	11,604,366	214,557	11,818,924	—	11,818,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	903	41,233	—	42,136	900	43,036	△43,036	—
計	7,941,416	2,173,033	1,532,053	11,646,503	215,457	11,861,961	△43,036	11,818,924
セグメント利益	2,073,585	174,930	61,505	2,310,020	73,391	2,383,412	△725,684	1,657,727

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融商品仲介、DNA解析に基づく健康コンサルティング、業務受託テレマーケティング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△725,684千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー 環境関連 事業	電子メディア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	10,196,021	2,193,139	12,389,160	12,389,160	—	12,389,160
セグメント間の内部売上 高又は振替高	74	450	524	524	△524	—
計	10,196,095	2,193,589	12,389,684	12,389,684	△524	12,389,160
セグメント利益又は損失 (△)	2,746,039	△348,782	2,397,257	2,397,257	△853,006	1,544,250

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△853,006千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社ハクビの当社が保有する全株式を譲渡して連結の範囲から除外しております。これに伴い、報告セグメントの「文化教育事業」の区分につきましては、記載しておりません。
4. 第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社ネクシーズ・トレード及び株式会社DiNAは総資産、売上高、当期純利益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。これに伴い、事業セグメントの「その他」の区分につきましては、記載しておりません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。